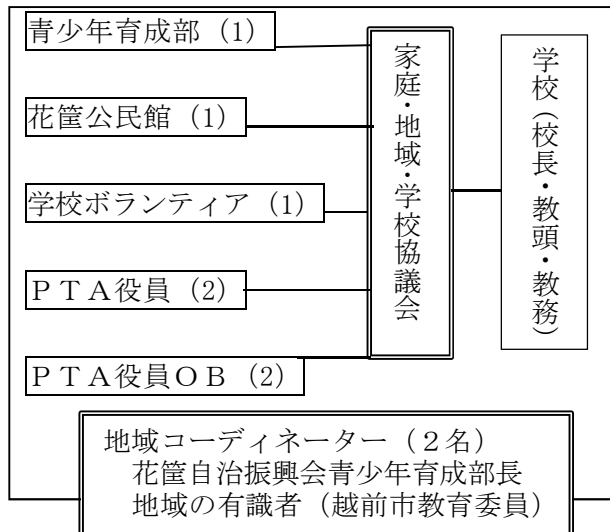


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の開催計画

- 第1回 6月28日
- ・本校の経営方針について
 - ・家庭・地域・学校の連携について
- 第2回 12月10日
- ・学校行事について
 - ・学校評価アンケート内容について
 - ・家庭・地域・学校の連携について
- 第3回 2月18日
- ・今年度の本校教育について
 - ・学校評価及び結果の考察について
 - ・次年度の課題について

(3) 協議会における成果と課題

家庭、地域、学校それぞれにおける児童の様子について情報交換し、より効果的な取組について実践し、学校評価において検証していくことができた。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地域の自然や人との関わりの中で児童が地域のもつ課題を見付けたり解決したりする体験活動を行うことで、ふるさと花筐に誇りや愛着をもち、心豊かにたくましく生きる子どもを育てる。

(2) 活動の実際

①地域安全マップづくり (6年生)

地域の見守り隊や保護者に、地域の安全についてアンケートをとり集約。実際に地域に出かけて情報を収集したり地域の方の話を聞いたりして、地域安全マップを作成した。マップは学校や地域の公民館、市の施設に掲示し、安全についての呼びかけを行った。

②花筐っ子読み聞かせ活動

読み聞かせボランティアグループ「花の子ぼけっと」の方々の読み方指導を受けた児童が、地区のイベントや病院、福祉施設で読み聞かせのボランティアを行った。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

講師の手配や連絡調整を行った。また、訪問先の選定や交渉を行い、児童の活動を支えた。

(4) 特に工夫した事項

低学年から高学年までがそれぞれの発達段階に合わせた取組を行い、自分たちで企画し実践する経験ができるよう配慮した。

(5) 成果と課題

地域の自然や人と関わる中で、そのよさや思いに触れ、ふるさと花筐に誇りや愛着をもつことにつなげることができた。さらに自分自身が地域の一員であることを自覚し、積極的に地域であいさつをしたり行事に参加したりする児童の姿が見られるように、今後も取組を続けたい。

